

議事概要	
会議の名称	令和6年度第2回長久手食育推進支援会議
開催日時	令和7年3月17日(月) 午前10時から午前11時30分まで
開催場所	会議室棟 会議室H
出席者氏名	委員 青山、安達、齋藤、日比野、松田、杉田、前島 計7名 事務局 みどりの推進課課長、農政係長、農政係職員 計3名
傍聴者人数	なし
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	議題 (1) 令和6年度の食育取組事例について (2) 令和6年度食育イベントについて (3) 令和7年度食育イベントの取組について (4) その他
問い合わせ先	長久手市建設部みどりの推進課 農政係 電話0561-56-0620 内線346
備考	

1 あいさつ

議事に先立ち、事務局よりあいさつ

長久手食育推進支援会議設置要綱（以下「設置要綱」という）第6条第2項の規程により、会議成立の報告を行った。

2 議題

(1) 令和6年度の食育取組事例について

<事務局説明要旨>

愛知県から依頼があった第4次愛知県食育推進計画「あいち食育いきいきプラン2025」に基づき、市が主体となって行った食育の取組について、関係各課が作成した取組事例を1事例ずつ報告。

<発言要旨>

委員：長寿課のきららの里の取組は参加費を徴収しているのか。

事務局：参加費は1回につき100円から700円の範囲で徴収している。

委員：同じく長寿課の高齢者配食サービスと連携し、ネットでつないで一緒に食事をとることができるような仕組みで孤食を解消できないかと思った。

事務局：参加費を徴収しているため、連携については課題点が多い部分もあると感じるが、担当課に情報共有する。

会長：食事のマナー、衛生についての事例を、上郷保育園のみで行っているのはなぜか。

事務局：栄養士を配置しているのが、現状上郷保育園のみとなっているためである。

委員：職員が自前で行うのではなく、外部発注することを検討してはどうか。人員の配置は人件費もかかることから難しいと思う。

事務局：担当課に共有する。

会長：名城大学で子どもの衛生について研究を行っている教授がいる。また、大学生の実習と絡めて、まずはお金をかけずに試験的に行うのも有効と考える。

(2) 令和6年度食育イベントについて

<事務局説明要旨>

資料2-1及び資料2-2にそって、令和6年12月14日に実施した食育イベントについて、順に説明をした。

(3) 令和7年度食育イベントの取組について

<事務局説明要旨>

令和7年度に行う予定の食育イベントについて、資料3を用いて検討した。

令和7年10月に委員の改選があるため、イベントミーティングと令和7年度第1回の食育推進支援会議の日程を踏まえ、イベント日程を検討したい旨伝えた。

<発言要旨>

委員：今年度同様に、「真菜」の調理体験会を定例化してはどうか。今年度の反省は、ひまわりネットワークや市の広報に声掛けをしなかったことと考えている。定例化をし、毎年12月に行っている行事として「真菜」の調理体験会が市民に広まればよいと思う。

事務局：今年度は調理体験会ともちつきを抱き合わせで行ったが、「真菜」は正月菜であることから、しめ縄作りなど様々な案を出せるのではないかな。

委員：実施時期は今年度同様、12月が望ましいか。

委員：美味しい真菜を食べてもらうには、12月が望ましいと思う。

事務局：今年度同様、12月上旬で検討することとする。

(4) その他

<事務局説明要旨>

今回のイベントミーティング（令和7年6月）及び支援会議（令和7年10月）の開催予定等について共有した。

以上